

1（令和7年10月分）

種 類	市況の概要
(水産物部の動向)	
水 産 物 全 般	<p>10月の総入荷量は前年同月比で11%下回り、総取扱金額は前年同月並みであった。</p>
	<p>11月は、たらが美味しい季節を迎える。この時期のたらは、身が厚く、脂が少なく淡泊ながらも濃厚な風味がある。焼魚をはじめムニエルやフライ、鍋など様々な食べ方で旬を味わってほしい。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で18%下回り、単価は16%上回った。</p>
	<p>品目別には、まいわし、ふぐの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。びんちょう、まだい(天然)の入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は10%上回った。</p>
	<p>品目別には、冷まあじ、冷あかえびの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。冷さんま、冷やりいかの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で6%上回り、輸入物を原料とする製品の値上がりから単価も13%上回った。</p>
	<p>品目別には、塩さば、塩ますの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。塩さんま、開干あじの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	佐賀、石川で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で10%上回り、単価は前年同月並みであった。
さ ば	長崎、福岡、韓国で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で40%下回り、単価は43%上回った。
あ ま だ い	長崎、山口で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で27%下回り、単価は19%上回った。
さ け	ノルウェー、北海道で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で42%下回り、単価は35%上回った。
さ ん ま	北海道、宮城で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で9%上回り、単価は良品物が入荷が増加したことから7%上回った。
か ま す	長崎、富山、鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で40%下回り、単価は58%上回った。
太 物	入荷量は前年同月比で18%下回り、輸入量が安定せず良品が少なかったため単価は3%下回った。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ け	入荷量は前年同月比で１５％下回り、単価は５％上回った。
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で１５％下回り、単価は１８％上回った。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月比で１８％上回り、輸入物の値上がりにより単価は６％上回った。
い く ら	入荷量は前年同月比で１８％下回り、単価は４２％上回った。